

構造とケアの現代的課題に迫る

子どもが安心して育つはずの家庭や保育の場で、虐待や不適切な関わりが問題となっています。ニュースでは大きく取り上げられますが、その背景にある社会の仕組みや制度の問題には、あまり目が向けられていません。雑誌「子ども学」では、この問題に長年取り組んできた内海新祐先生と武田信子先生の論文を掲載しました。今回のセミナーでは、お二人を迎え、これからの社会に必要な視点についてお話しいたします。

セミナーテーマ

2026
1.31(土)
13:00~15:30

受講料¥2,000
定員50名
対面開催

子どもへの マルトリートメントを 構造的に捉える

申込受付期間：2025.12.1~2026.1.15

プログラム

13:00 ご挨拶 五十嵐 元子 白梅学園大学子ども学部 准教授

13:20 講演：内海 新祐先生

『今日の社会的養護におけるケアの「構造」的課題』

- 社会的養護の現場で行われるケアを、「構造」の視点から見つめ直します。
施設職員や里親による虐待事例などの現状をふまえ、そうした問題を生み出す背景や仕組みを考察し、よりよいケアのあり方を探ります。

14:20 講演：武田 信子先生

『育児マルトリートメントの構造的理解と社会的対応』

- 家庭や保育施設、社会的養護施設で起こる虐待や不適切なケアの問題を取り上げます。
- 教育虐待や施設内暴力などの背景にある社会的要因をひもとき、子どもが安心して育つための社会のあり方を考えます。

15:10 質疑応答

白梅学園大学・白梅学園短期大学 子ども学研究所

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
TEL 042-313-5990 公開講座（直通）
e-mail kouza@shiraume.ac.jp



講師

内海 新祐先生

旭児童ホーム 心理療法担当
職員
公認心理師・臨床心理士



2001年、東京大学大学院教育学研究科博士課程を単位取得退学後、社会福祉法人旭児童ホームに勤務し、子どもたちの心のケアに携わってこられました。

著書に『児童養護施設の心理臨床』（日本評論社、2013年）、『「ケア」を謳わないケア』（言視舎、2023年）などがあります。

講師

武田 信子先生

一般社団法人ジェイス代表理事
臨床心理士



一般社団法人ジェイス代表理事。臨床心理士。東京学芸大学研究員。大学教授等を経て、海外40か国で子育て状況を視察。教育、心理、福祉の観点から、体と心と脳のウェルビーイングな発達を保障する養育・教育環境の実現とマルトリートメントの予防のために、対人援助職の専門性開発に力を注ぐ。ベストセラー『やりすぎ教育』等著書多数。NHKクローズアップ現代、あさイチ等メディア出演多数。全国で数万人に講演、研修を実施。



雑誌『子ども学』13号 特集2 構造とケアの現代的課題に迫る

第1章 今日の社会的養護におけるケアの「構造」的課題 内海新祐先生

第2章 育児マルトリートメントの構造的理解と社会的対応 武田信子先生

白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所「子ども学」編集委員会編集 萌文書林発行
<https://houbun.com/item/403.html>

お申込みから受講までの流れ

1. QRコードを読み取り「受付フォーム」にて、お申込みください。本学ホームページからもお申込みできます。
2. お申込み後、返信メールが送信されます。返信メールの連絡がない場合は、お申込みが正常に完了していない場合がありますので、再度お申込み頂くかe-mailにてお問い合わせください。(e-mail:kouza@shiraume.ac.jp)「@shiraume.ac.jp」ドメインからのメールの受信を許可していただきますようお願いいたします。
3. 返信メールに記載されている入金締切日までに、ご入金をお願いいたします。振込手数料は振込者負担になりますのでご了承ください。
振込用紙の通信欄に必ず「お申込みの講座名」と「お申込者名」をご明記ください。明記ができない場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
お振込み者が特定できない場合は、講座のご案内をいたしかねます。
4. 当日、白梅学園大学にて受講してください。(開始時間30分前より入構可能)。

トラブルについて

- 講師や他の受講生の迷惑となるような行為を行ったり、講座の進行を妨げるような言動及び行動を行ったりした場合は、受講をお断りする場合がございます。
- 講座当日は、お電話での対応をいたしかねます。

白梅学園大学・白梅学園短期大学 子ども学研究所

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

TEL 042-313-5990 公開講座（直通）

e-mail kouza@shiraume.ac.jp

